

1 「(仮称)非居住住宅利活用促進税」に係る税率区分ごとの税収内訳について

固定資産評価額(家屋)	税率		課税対象件数 見込み	税収見込み額		
	家屋価値割	立地床面積割		家屋価値割	立地床面積割	合計
700万円未満	0.7%	0.15%	約1.3万件	約2.6億円	約2.3億円	約4.9億円
700万円以上900万円未満		0.3%	約0.1万件	約0.6億円	約0.7億円	約1.3億円
900万円以上		0.6%	約0.1万件	約1.0億円	約2.3億円	約3.3億円
合計			約1.5万件	約4.2億円	約5.3億円	約9.5億円

※ 数値は平年度

(参考) 課税標準額

家屋価値割 : 固定資産評価額(家屋)

立地床面積割 : 敷地の土地に係る1㎡当たり固定資産評価額×家屋延べ床面積

※ 税額は家屋価値割と立地床面積割の合計で算出

2 「(仮称)非居住住宅利活用促進税」に係る検討委員会で示された事例ごとの税負担見込み額について
(免税点200万円未満の場合及び1000万円未満の場合)

別紙のとおり

事例ごとの税負担見込み額

事例概要	所在地	家屋形態	物件概要	家屋評価額	土地1㎡当たり評価額	固定資産税等額	免税点(案)ごとの判定		税負担見込み額
							家屋評価額 20万円	家屋評価額 100万円	
1 住宅街の狭小住宅。仕事で遅くなったときに利用している。	山科区	戸建て	○ 築約50年 ○ 床面積約35㎡	約33万円	約7万3千円	約1万5千円	○	×	約6,000円
2 将来居住目的で所有しているが、土砂災害警戒区域(崖地)の指定を受けた。	山科区	マンション	○ 築約35年 ○ 床面積約70㎡ ○ 土砂災害警戒区域	約410万円	約3万9千円	約8万2千円	○	○	約33,000円
3 交通が不便な地域の戸建住宅。思った価格で売却に至らず、そのままにしている。	山科区	戸建て	○ 築約50年 ○ 床面積約60㎡	約60万円	約3万9千円	約3万円	○	×	約8,000円
4 桂坂周辺の戸建住宅。物件価格が購入時を大きく下回っており、売却をためらっている。	西京区	戸建て	○ 築約30年 ○ 床面積約150㎡	約300万円	約8万4千円	約10万5千円	○	○	約40,000円
5 洛西ニュータウンの戸建住宅。賃貸に出そうとしているが、借り手が見つからない。	西京区	戸建て	○ 築約40年 ○ 床面積約100㎡	約230万円	約9万4千円	約7万5千円	○	○	約31,000円
6 賃貸物件として利用する予定だが、リフォーム費用を捻出できずに放置している。	右京区	戸建て	○ 築約50年 ○ 床面積約50㎡	約40万円	約10万円	約2万円	○	×	約9,000円
7 路地奥の老朽狭小住宅を将来居住目的で所有。建築基準法上の道路に接道していない。	右京区	戸建て	○ 築約50年 ○ 床面積約60㎡ ○ 再建築不可物件	約63万円	約5万5千円	約2万円	○	×	約9,000円
8 田の字地区内の古い戸建住宅を将来居住目的で所有。老朽化が進んでいるが、未接道により再建築不可。	中京区	戸建て	○ 築約110年 ○ 床面積約50㎡ ○ 再建築不可物件	約6万円	約19万円	約2万6千円	×	×	—
9 路地奥の戸建住宅。相続したが、使いみちがなく、放置している。	上京区	戸建て	○ 築約95年 ○ 床面積約80㎡ ○ 再建築不可物件	約11万円	約5万6千円	約1万7千円	×	×	—
10 相続により取得したが、倉庫等として年に数回立ち入るのみ。将来的には居住も検討している。	東山区	戸建て	○ 築約90年 ○ 床面積約90㎡	約18万円	約18万4千円	約3万3千円	×	×	—
11 狭小戸建住宅。建築基準法上の道路に接道しておらず、倉庫として利用している。	中京区	戸建て	○ 築約45年 ○ 床面積約40㎡ ○ 再建築不可物件	約56万円	約5万8千円	約2万円	○	×	約8,000円
12 思った値段で買い手がつかないため、物置きとして利用している。	伏見区	マンション	○ 築約40年 ○ 床面積約60㎡	約270万円	約6万8千円	約5万円	○	○	約24,000円
13 以前は賃貸していたが、前の賃借人が家財を置いたまま行方知れずになってしまい、どうすることもできない。	山科区	戸建て	○ 築約55年 ○ 床面積約45㎡	約38万円	約7万8千円	約1万5千円	○	×	約8,000円
14 戸建住宅を購入したが、転勤により現在は居住していない。	山科区	戸建て	○ 築約20年 ○ 床面積約100㎡	約270万円	約10万2千円	約7万円	○	○	約33,000円
15 一団の土地内に、戦前から複数の貸家を営んでいるが、現在は入居中のものと未入居のものが混在している。全入居者が退去した後に土地活用したいとの意向があり、入居者の募集は考えていない。(土地は借地の場合もある。)	東山区	戸建て	○ 築約130年 ○ 床面積約40㎡	約6万円	約19万5千円	(家屋約1千円)	×	×	—
		戸建て	○ 築約50年 ○ 床面積約30㎡	約26万円	※ 土地は複数家屋の底地	(家屋約5千円)	○	×	約11,000円
16 田の字地区の高層分譲マンションを別荘として所有。祇園祭の際などに年数回利用している。	中京区	マンション	○ 築約5年 ○ 最上階 ○ 床面積約100㎡	約1,500万円	約100万8千円	約35万円	○	○	約939,000円
17 京都駅近くのワンルームマンション。週数回、仕事で帰りが遅くなったときに利用している。	下京区	マンション	○ 築約10年 ○ 床面積約30㎡	約270万円	約27万3千円	約5万1千円	○	○	約31,000円
18 嵯峨嵐山に別荘を所有。保養目的で年に数回使用している。	右京区	戸建て	○ 築約50年 ○ 床面積約300㎡	約1,000万円	約5万6千円	約43万円	○	○	約233,000円